

平成28年度を迎えるために 期待する心・揺れ動く心 = 子供達の心

4月は、進級に伴うクラス替えなどで友達関係がかわり、新しい環境で生活を始めるときです。子供達にとっては、その環境が成長の機会になってきます。ただ、時にはストレスになったり、不安に感じたりすることもあります。長期休業後に子供達のトラブルが多くなるという調査結果もあります。保護者の皆様には、春休みから新年度にかけて、特に「いじめにつながる」ようなことについてお子さんとお話をする時間をとっていただければと思います。

学校では下記の宮城県教育委員会の指針(いじめの早期発見チェックポイント)を参考に、これからも子供達の心の教育に努めてまいります。ご家庭でもご活用いただき、お子さんからの様子から「これは」と思う訴え(サイン)があるときにはご相談くださいますようお願いいたします。

いじめの早期発見(チェックポイント)

- 遅刻、欠席が増える。
- 時刻ぎりぎりの登校が目立つ。
- 表情がさえず、うつむき加減。
- 出席確認の際、声が小さい。
- 頭痛、腹痛などを頻繁に訴える。
- 授業中、正しい答えを冷やかされる。
- 筆圧が弱くなる。
- 休み時間はトイレなどに閉じこもったり、遅れて教室に入ってくる。
- 物が壊れたり、事件が起きると、その子のせいにされる。
- 椅子や机が壊されたり、所持品や机などに落書きされる。
- 授業の始めに、机の上の教科書などが散乱している。
- 特定の子の運動着が破られたり、靴が隠されたりする。
- 正しい意見なのに「へー」などと野次がとんだり、その意見がなぜか支持されない。
- 用事もないのに職員室や保健室に来たり、部屋の周りをウロウロする。
- その子を誉めると、クラスの子供たちがあざけたり、シラケたりする。
- あとで「何さ、あんなやつ誉めて」とケチがつく。
- 「誰かやってくれないか」と言うと、特定の子の名がふざけ半分でいつも出てくる。
- 今までのグループからはずれて一人ポツンとし、沈みがちになる。
- 「ばいきん」「〇〇菌」などと人の嫌がるあだ名をつけて呼ぶ。
- 急いで一人で帰宅する。
- 日記、作文、絵画などに気に掛かる表現や描写が表れる。
- 教材費、写真代などの提出が遅れる。
- 飼育動物や昆虫などに残虐な行為をする。

